**平成２９年度　事業報告**

**１．当法人の事業概況**

**（１）事業を取り巻く概況**

平成30年度は、診療報酬と介護報酬のＷ改定となりましたが、大方の予測に反し、介護報酬は全体で0.54％の微増改定となりました。

前回平成27年度2.27％という大幅な減額改定により、平成28年度の決算において全国の特別養護老人ホームの約33％（従来型特養＝34％　ユニット型特養29.5％）が赤字に陥るという結果を受けた、微細な揺り戻しと言えます。従って、比較的軽度の利用者の多い、通所介護は約１％のマイナス改定、訪問介護は身体介護が微増で生活援助が微減のほぼ０改定となっています。

この結果、当法人においては全体的に見れば、次の改定までの3年間は、介護人材の不足による減産や、感染症等の集団感染による事業の一時停止などのイレギュラー、或いは国際的、国内的な経済トラブルさえ無ければ、比較的安定した経営状況を保てるものと捉えております。

**（２）主な事業概況**

（１）の状況からも現在の当法人の最大の課題は介護人材の不足であると言えます。幸いなことに、法人内の全ての事業所において法定定数を割り込むような状況にはなっていないものの、特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービスセンターに関しては、法人が定めた職員定数を下回る状況で新年度をスタートせざるを得ませんでした。

3月の理事会でもご説明申し上げましたが、要介護　高齢者数が全国的にピークを迎えると言われる2025年には、日本の国内で介護職員が30万人不足するとのデータも示されるなど、看・介護職員の不足はある意味で社会問題となりつつあります。福島県の介護職員の有効求人倍率は全国平均の1.23倍の3倍近い3.33倍（29年1月）であり、郡山地区に限っては7倍を超えております。

特に「介護福祉士」有資格者の人材不足は養成校の9割が定員割れとなっており、福島県内の学校に関しては募集定員に対する充足率が40％程度と深刻さを極めています。従って事務方による学校訪問や実習生へのアピール、或いはイベントへのボランティア募集といった旧来の求人活動に留まらず、「就職したい職場」をアピールすることが肝要と考え、今春のスプリングフェスタには「ボランティア」ではなくイベントを楽しみに来て欲しい旨のお知らせをしたところ、いずみ祭のボランティア募集に関しては無しの礫だった学生が、郡山健康科学専門学校は卒業年次生のほぼ全員が、国際医療看護福祉大学校からも教員3名を含む7名が来園するといった効果を表しています。

平成29年度の法人の主な行事と致しましては、3回目となった4月16日の「スプリングフェスタ2017」は好天に恵まれ、前年を上回る大勢のご家族、関係者のご来園を頂き、好評のうちに終了することができました。また、恒例であった「いずみ祭」は、郡山市の指導監査との日程調整がまとまらず、休止といたしました。

改正社会福祉法に合わせた「地域における公益的な取組」として、28年度から開催した「いずみ健康楽習塾」は、29年度は、福島県社会福祉法人経営者協議会の「社会福祉法人による地域における公益的な取組推進モデル事業」に選定され、7月5日に開講し、受講者の皆様からは高評価をいただいて先月11月22日に修了式を行いました。この企画は「認知症予防」という国家規模の課題であるにもかかわらず、市町村行政の対応が遅れている分野への取り組みであり、1月1500円という低額な費用での開催であることから、正に「地域における公益的な取組」と自負していた訳ですが、5名という少数の受講者に留まりました。

職員の資質向上のため、5月には北海道教育大学釧路校の北澤一利教授を講師に「ふまねっと講演会」を開催、10月には同じく「ふまねっとインストラクター講習会」を開催し、介護予防及び認知症予防について知識と技術の習得を支援いたしました。

**（２）事業所別事業概況**

**１）特別養護老人ホーム（ショートステイを含む）**

原子力災害特別措置法により避難を継続されている、富岡町の特養「舘山荘」の元利用者6名を継続して受け入れ、4名中2名を80名の特養定員の中で、2名を特別受け入れ枠の利用によりショートステイ定員を2名減員して受け入れておりました。従って、平成29年度の特養定員は前年度に引き続き82名、ショートステイ定員を18名として運用しました。

29年度の特養本体の稼働率は、17名の新規入居があったものの、24名の退居者が生じたことから、特養本体の加津率は96.2％と目標値の97％に届いていません。ショートステイについては前年度よりも5％ほど改善したものの稼働率は74.7％に留まりました。年度末に発生した「疥癬」の感染拡大による新規入居者の入居遅延、ショートステイの一時的な受け入れ制限が、稼働率低迷の要因となったことに疑いはありませんので、より一層の衛生管理、スタッフの衛生教育に努めて参ります。

次に介護事故についてですが、前年比39件減の119件の介護事故が報告されております。転倒・転落事故が70件で、服薬に関する事故は前年度の17件から34件へ倍増しました。服薬事故の多くは口に含んだ後の吐き出しによる不完全な服薬か服薬時間の誤りで、重篤な事故の発生とならなかったことが不幸中の幸いと言えます。転倒による骨折事故も2件発生しており、命に係わる大事故に結び付く可能性が十分にあったことを肝に銘じ、今後の確実なケアの提供に努めて参ります。

また、苦情については1年を通して1件のみでした。苦情の件数が少ないことは良いことのように思われますが、逆に苦情や不満を言いにくい雰囲気となっていることも考えられますので、事故・苦情とも、状況を真摯に受け止め、介護職員のみならず施設全体で情報を共有し、改善を図って行きたいと考えます。

29年度末からは嘱託医師との連携方法が一部変更となり、寿泉堂綜合病院に加え、地域の２医療機関の医師と連携を図ることとなりました。平成29年度の退居者のうち22名は施設内で最期をお迎えになっており、今後も施設内での看取り事例がほとんどとなると考えられますので、新たな体制に早急に習熟することで、入居者ご家族に最後まで安心してお預けいただける環境の構築に努めて参ります。

入居者への関わりとしては、平成29年度に11名のスタッフが「ふまねっとインストラクター」の資格講習を受講し、転倒予防・認知症予防の効果が期待できる「ふまねっと」をショートステイ利用者を中心に実践を開始しました。これまでの「学習療法」と組み合わせて適切にプログラム展開を行うことで、専門職種のいない中での「リハビリ的プログラム」の効果的実践、入居者に笑いのある生活の伸長による職員のモチベーションの高揚とそれに伴う離職者抑制、就職希望者の獲得など、多面的な効果を期待したいと考えております。

**２）デイサービスセンター**

デイサービスセンターにおいては、通所系事業所の増加により新たな利用者の獲得が年々難しくなってきていることから、職員体制を再構築し「中・重度者ケア加算」を算定することで経営基盤の安定化を図ろうと致しましたが、ベテラン機能訓練指導員が体調不良で急遽退職した後は、補充職員が長続きせずに混乱が生じました。そうした中でも、新たな取組としての「ふまねっと」プログラムの提供や中心職員の尽力により、4年ぶりに年間利用者数が7,000人を超え収入額も増加するなど、経営的な安定は図ることができました。

平成29年度も、引き続きサービス内容の向上と余暇活動のマンネリ化改善のため、石窯を利用しての焼き立てパンやピザの提供などを行い、主食以外の「食」に関するサービスの向上を目指した結果、利用者から大変高評価であることから、今後も更なるサービス向上によって利用者満足度を高め、更なる利用者数の維持・改善を図りたいと思います。

11月には安積地域包括支援センターの求めに応じ、あさか台町内会認知症予防教室へのスタッフ派遣、県老人福祉施設連絡協議会在宅部会職員研修会での事例発表を行うなど対外的な貢献、ＰＲにも努めました。

介護事故・苦情の状況については、10件の事故がありました。幸いいずれも軽微なもので通院や訴訟等の重大事案には至りませんでした。

**３）ホームヘルパーステーション**

29年度末、3月に「訪問介護ステーションひかり」を利用者・職員をほぼ丸ごと吸収・統合いたしました。従いまして、利用者数、収入とも3月については突出した結果となり、年間を通じても例年とは単純比較できない結果となっております。

ただ、3月単月の結果を見ても、従事者さえ確保できれば収入の確保はできることが確実です。新たなホームヘルパーの確保は今後も大きく期待は出来そうにありませんが、国が訪問介護事業の特に生活援助部分を介護保険事業からの切り離しを画策している状況においては、今後も今回のように事業所を手放したり廃止したりする経営者は少なからずいることと思われます。年々ベテラン化している登録ヘルパーの交代も必要でありますので、事業所の通常運営への尽力のみならず、同業他社の情勢にも耳目を立て、事業所ごとの統合といっった今回のような方法による登録ヘルパーの確保にも努めて行きたいと考えております。

サービスの質の向上については、情報を確実に共有することで、ご家族を含めた利用者満足度の向上を図るため職員間のミーティングを密に行いました。加えて、スタッフの能力向上のために月例研修会を毎月開催していますが、登録ヘルパーに関しては、直接スタッフ同士が顔を合わせる機会も少ないことから、十分に情報の共有や連携が図れているとは言い切れません。個人の技量に利用者満足度が大きく左右される事業所であるからこそ、スタッフ全体の知識・技術の底上げを行い、チームケアを意識した関わりを徹底していきたいと考えております。

**４）居宅介護支援事業所**

居宅介護支援事業所の事業実績ですが、給付管理件数は昨年度の1,058件に対し、29年度は1,144件と86件増加しました。認定調査の件数については、年度途中でスタッフの交代が生じたことから昨年度の85件に対して半減の40件となっております。

事業所としては、個々の職員のケアマネジメント能力を高めることで、地域福祉の質の向上に積極的に関与して法人の知名度アップに寄与し、その結果として法人内サービス提供事業所のサービス総量の増加につなげたいと考えますが、29年度は定期人事異動によりスタッフの入れ替え後、退職。再度の異動と混乱が生じました。

そうした中でも「安積町地域の支え合いを考える連絡会」「安積・三穂田地区居宅介護支援事業所ブロック会議」「同　勉強会・事例検討会」など多くの会議等に参加して地域の課題に関する意見交換を行うなど、「いずみ福祉会」「スプリングガーデンあさか」の知名度の向上に寄与できたものと受け止めています。

**５）グループホーム**

グループホームの29年度利用実績は、延数で前年比58名増の6,529名の99.37％の稼働率となり、98％目標稼働率は達成しました。入院及び退居後空床が41日発生しましたので、更なる空床期間の短縮に向けて努力して参ります。

事業目標として掲げた項目に対しては、次の通りの状況でありました。

①　適切なサービスの提供

入居者の誕生会を毎月実施したほか、4月13日お花見、5月23日幸楽苑での外食、7月7日流しそうめん、7月28日夕涼み会、8月30日幸楽苑での外食、9月10日敬老会、10月15日紅葉狩り外出、11月15日カラオケボックスへの外出、12月6日忘年会、12月25日クリスマス会、12月28日餅つき、1月10日団子刺し、などの行事を開催し、利用者の「楽しみ」を構築して季節感の醸成や閉塞感の解消につなげました。また、認知症の予防・改善プログラムの「学習療法」を12名の利用者に対してほぼ毎日提供しております。

②　人材の育成

経験者の退職後は未経験者しか採用できない現状において、日々のOJTを中心としたスタッフ教育は、経験の長いスタッフの重要かつ負担の多い業務となっています。それでも、内部研修を計画的に実施することと合わせ、OJTを実施し、スタッフの技能向上に努めております。副ホーム長1名が退職したことで、スタッフ全体の役割の見直しが必要となった1年でもありました。職員の平均年齢も法人内の他の事業所と比較して高いため、職員の健康状態にも配慮しながら、ハード面の整備による業務の効率化や負担軽減も行って参りたいと思います。

③　安心・安全な生活の提供

毎月1日を「GH防災の日」として、避難・通報訓練及び建物の自主点検を継続して実施し、日頃の防災意識の向上に努めました。

介護事故については29件報告されておりますが、そのうち15件が転倒・転落事故でありました。ADLの日内変動の確認や居住環境の整備の徹底等によって事故を減らせるよう更に努力して参ります。29年度はデイサービスで進めている「ふまねっと」をグループホームでも取り入れた結果、転倒事故が前年比で半減するという効果を生んでいますので、29年度は6名入居者に提供しましたが、新年度はこの効果を踏まえ対象者を拡大し、楽しみながらの転倒予防を図りたいと思います。

④　医療連携体制の確保

平成２４年度より、「いずみ訪問看護ステーション」と連携して「医療連携加算」の算定を行っており、今年度も週１回の訪問によって、利用者の健康チェック、状態不良者への点滴の投与などを行い、健康管理を徹底致しました。

また、グループホームを可能な限り長くお使い頂けるよう、医療連携加算とは別に、入居中の点滴の対応や看取りの対応などを行うための契約も更新しました。29年度は1名が、結果的に入院とはなりましたが、主治医、訪問看護ステーションとの連携により看取りの対応をいたしました。

**２．会議報告**

　　　法人の業務に関する重要事項の決定、報告のため、理事会及び評議員会を以下の通り開催いたしました。

**（１）理事会及び評議員会**

①日　時　　平成２７年５月２０日（水）

　　　　　　　　　午後５時～午後６時（評議員会)

　　　　　　　　　午後６時～午後７時（理事会）

②場　所　　郡山ビューホテルアネックス

③議　題

　　第１号議案　平成２６年度事業報告について

　　第２号議案　平成２６年度決算報告について

　　　　　　　　平成２６年度会計監査報告

**（２）理事会及び評議員会**

①日　時　　平成２７年１２月１１日（金）

午前１０時～午前１１時（評議員会）

　　　　　　　　　午前１１時～午前１２時（理事会）

②場　所　　スプリングガーデンあさか研修室

③報告事項

　　　・平成２７年度上期事業報告

　　　・平成２７年度上期仮決算報告

**（３）理事会及び評議員会**

　　　　①日　時　　平成２８年３月２３日（水）

　　　　　　　　　　　　午後５時～午後６時(評議員会)

　　　　　　　　　　　　午後６時～午後７時(理事会)

　　　　②場　所　　郡山ビューホテルアネックス

③議　題

　　　　　　第１号議案　平成２７年度資金収支補正予算（案）について

　　　　　　第２号議案　給与規程の改訂について

　　　　　　第３号議案　平成２８年度事業計画（案）について

　　　　　　第４号議案　平成２８年度資金収支予算（案）について

**３．補助金、寄附金収入等報告**

　　　平成２７年度事業（２７年度内に入金したもの）に対する補助金、寄附金等を以下の通り受領しました。

**（１）寄附金収入・寄附物品**

・公益財団法人湯浅報恩会より独立行政法人医療福祉機構施設整備等借入金

償還のための寄附金　　　　　　　　 　 　 　 12,000,000円

　　　・高野光子様（ご利用者家族）よりデイへ　　　　 　　50,000円

　　　・山ノ井文子様より施設へ　　　　 　　　ヤマハピアノ一式

**（２）補助金収入**

　　　・ふくしま産業復興雇用支援助成金　 　　　 　 　　8,379,000円

　　　・郡山市より平成２７年度結核予防補助金 　　 　 　　88,000円

　　　・郡山市より平成２７年度借入金利息補助金　　 　　1,008,000円

**４．設備投資等報告**

　　平成２７年度に整備した設備、什器備品等は次の通りです。

　　　・業務用シュレッダー　　　　１台　　　　　　　（特別養護老人ホーム）

　　　・パソコン用テーブル　　　　２台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

・カッティングミキサー　　　１台　　　　　　　　　（　　　 〃　　 ）

・食事配膳車　　　　　　　　８台　　　　　　　　　（　　　 〃　　 ）

・間仕切りカウンター　　　　３台　　　　　　　　　（　　　 〃　　 ）

・シャワーチェア　　　　　　１台　　　　　　　　　（　　　 〃　　 ）

　　　・移乗用ボード　　　　　　　３台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・ロールスクリーン　　　　　６台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・カラオケセット　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・事務用ワゴン　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・事務用脇机　　　　　　　　２台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・食器洗浄機　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・ロビー用ベンチ　　　　　　２台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・ロビー用テーブル　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・ロビー用プラントボックス　３台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・テレビ用ラック　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・冷蔵庫　　　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・超低床ベッド　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・介護用チェアー　　　　　　３台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・インクジェットプリンター　１台　　　　　　　（居宅介護支援事業所）

　　　・事務用脇机　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・こたつ布団　　　　　　　　２台　　　　　　（デイサービスセンター）

　　　・掃除機　　　　　　　　　　１台　　　　 　　 　　（ 　　　〃　 　）

　　　・加湿器　　　　　　　　　　１台　　　（ホームヘルパーステーション）

　　　・家庭用洗濯機　　　　　　　１台　　　　　　　　　（グループホーム）

**５．庶務事項報告**

**（１）職員数（平成２８年３月４日現在）**

　　　　①特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設・短期入所）

　　　　　　常勤６１名（事務課７、生活相談課３、栄養管理課１、ケアサービス課

５０）

　　　　　　臨時　９名（事務課８、ケアサービス課１）

　　　　　　派遣１２名（栄養管理課９、ケアサービス課３）

　　　　②デイサービスセンター

　　　　　　常勤１０名

　　　　　　臨時　１名

　　　　③あさかヘルパーステーション

　　　　　　常勤　２名

臨時１２名

　　　　④居宅介護支援事業所

　　　　　　常勤　３名

　　　　⑤グループホームすぷりんぐ

　　　　　　常勤１６名

**合　計　　１２６名（前年度比＋２名）**

常勤　９２（前年度比+６名）　臨時２２（同＋３名）

派遣　１２（同－６名）

**（２）ボランティア活動の受入れ**

**一般ボランティア**

・安積地区ボランティア連絡会

・コールせせらぎ（コーラス）

・花かつみ会（歌と踊り）

・森のきのこ（オカリナ演奏）

・ことね会（大正琴演奏）

**・**竹さん家族（琴と尺八演奏）

**・**笹川語りの会

**・**あさか開成高校アロハフラダンス

**・**郡山きららハーモニカクラブ（ハーミニカ演奏）

**・**ニュー郡山演歌歌謡会慰問倶楽部（歌）

**・**スマイリー健＆クリスタルファイブ（歌）

・パートナードッグクラブ

・郡山婦人会幼児保育所園児

**・**ひまわり会（歌、踊り）

**・**いきいき友和会（トーンチャイム演奏）

・株式会社ニラク郡山南店（物品提供）

・板谷繁子様他（琴、詩吟、日本舞踊）

**・**渡部倉子様（お話）

**・**菊地マサ子様（歌）

**いずみ祭ボランティア**

・クラブ自動車株式会社

**・**株式会社あかね福祉

**・**株式会社ホット郡山

・株式会社同仁社

**・**ダスキンヘルスレント

・郡山女子短期大学

・郡山健康科学専門学校

・福島介護福祉専門学校

・国際メディカルテクノロジー専門学校

・利用者ご家族

**・**職員ご家族

**・**いずみ福祉会職員有志

**（３）面会来所者**

　　　　　　来所者年間合計　　　３，４７４名　（月平均　２８９名）

**（４）会計事務所・税理士による経営指導**

　　　　　　三部会計事務所所属税理士による会計指導

　毎月１回　年間１２回実施　他決算時指導

**７．主要行事等**

**平成２７年**

４月　１日　・入社式及び辞令交付式

４月１０日　・職員親睦会による花見開催

　　　　　　　　　　　於「ダイニング開成」　５１名参加

　　　　４月１６日　・永年勤続職員表彰（勤続１５年９名、１０年４名、５年５名）

　　　　４月１９日　・ＳＡＫＵＲＡフェスタ開催

５月　７日　・法人の監事による監査実施

～８日

　　　　５月２０日　・理事会、評議員会開催

　　　　６月　８日　・スプリングガーデンあさか館内ワックス塗布作業実施

～１２日　・介護記録ソフトシステムリニューアル

　　　　６月２７日　・家族懇談会開催（８月からの法改正説明等）

７月１０日　・グループホームにおいて「流しそうめん」実施

７月２４日　・特養において「流しそうめん」実施

８月　７日　・グループホームにおいて「夕涼み会」実施

８月　８日　・職員親睦会による暑気払い開催

　　　　　　　　　　　於「ビューホテルアネックス」　４４名参加

８月２８日　・特養において「カフェコーナー」実施

８月２９日　・スプリングガーデンあさかに於いて法人就職説明会開催

　　　　９月１３日　・「第１３回いずみ祭」開催

９月２９日　・新規学卒者採用試験実施（応募者３名）

　　　１０月１３日　・石筵ふれあい牧場より移動牧場実施

　　　１０月２７日　・特養避難訓練実施

１１月　４日　・苦情解決委員会実施（第三者委員参加）

　　　１１月１１日　・福島県議会議員選挙不在者投票実施

　　　１１月１５日　・特養「運動会」開催

　　　１１月２１日　・職員親睦会によるボーリング大会開催

　　　　　　　　　　　　　　　於「タイトーアミューズメント」　３３名参加

　　　１２月　１日　・グループホーム避難訓練実施

　　　１２月１１日　・グループホーム入居者忘年会開催

１２月１２日　・職員親睦会による忘年会の開催

　　　　　　　　　　　於「ホテルハマツ」　４８名参加

１２月１６日　・デイサービスにて「郡山婦人会保育所」園児との交流会

　　　　　　　　　を実施

　　　１２月２０日　・特養入居者忘年会の開催

１２月２８日　・スプリングガーデンあさか玄関ホールにて餅つき大会実施

１２月２９日　・仕事納め式

**平成２８年**

　　　　１月　４日　・仕事始め式

　　　１月１２日　・特養において「居酒屋コーナー」実施

　　　　２月　２日　・郡山市による指導監査

　　　　　　～４日　　特養・グループホーム・法人

２月１２日　・特養において「カフェコーナー」実施

　　　　３月　７日　・郡山看護専門学校より見学実習１８名受入

　　　　３月１４日　・新入社員オリエンテーションおよび入社前研修実施

　　　　　～１８日

　　　　３月２４日　・富岡町議会議員選挙不在者投票実施

　　　　３月２９日　・デイサービスセンターに於いて避難訓練実施

**８．その他の活動**

**（１）諸会議**

・労働安全衛生法の定めにより、毎月１回産業医による巡視、「衛生委員

会」を開催し、館内・館外の巡視を実施しました。

・毎月１回法人内で管理者会議を開催し、各事業所の事業についての報

告、意見交換等を行いました。

・隔月１回、事故防止対策委員会、身体拘束廃止検討委員会を開催し、

介護事故の防止及び身体拘束の廃止に努めました。

・グループホームにおいて２か月に１度「グループホーム運営推進会議」

を開催し、事業の報告と意見交換等を行いました。

・グループホームにおいて毎月１回食事委員会を開催し利用者の食事について

意見交換を行いました。

・特養において３カ月に１度（年４回）第三者委員出席による「入居検討委員

　会」を開催しました。

・年1回栄養管理委員会を開催し、施設で提供する食事の食材や栄養バランスに

ついて意見交換を行いました。

・施設長等が下記の会議等に参加して情報交換に努めました。

**平成２７年**

　４月３０日　福島県老人福祉施設協議会総会

　５月１３日　郡山消防防災協会総会

　５月２８日　郡山市社会福祉協議会理事会・評議員会

　６月　４日　安積地区社会福祉協議会理事会・評議員会

　６月　４日　郡山市社会福祉法人代表者会議

　６月１２日　郡山市介護保険課事業者集団指導

　６月２６日　安積町地域の支え合いを考える連絡会

　７月　９日　福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会

　８月２１日　安積町地域の支え合いを考える連絡会

　９月　７日　寿泉堂綜合病院研修管理委員会

９月１１日　郡山市介護保険運営協議会

１０月２６日　郡山市社会福祉協議会理事会

１１月１３日　郡山市地域密着型サービス等運営委員会

１１月１８日　郡山市介護サービス相談員・事業所・行政の三者会議

１１月２０日　郡山市内特養連連絡会

１１月２６日　郡山市地域ケア会議

１２月１８日　郡山市介護保険運営協議会

１２月１８日　安積町地域の支え合いを考える連絡会

**平成２８年**

　１月２５日　郡山市介護予防・日常生活総合事業移行説明会

　２月２２日　郡山市介護保険運営協議会

　２月２６日　安積町地域の支え合いを考える連絡会

　３月　９日　社会福祉法人経営者協議会福島支部総会

３月　９日　郡山市社会福祉協議会理事会

　３月１１日　寿泉堂綜合病院研修管理委員会

３月１７日　安積地区社会福祉協議会理事会

３月２４日　安積地域包括支援センター・地域づくりを考える講演

　　　　　　シンポジウム

**（２）研修及び教育**

次のような研修に参加し、情報収集及び職員の資質向上に努めました。

　　・全社協社会福祉経営者研修会「人事管理コース」　　（１名）

　　・全社協・社会福祉法人「人材マネジメント講座」　　（１名）

　　・全社協・社会福祉法人「経営セミナー」　　　　　　（１名）

　　・全社協・社会福祉法人「労務管理セミナー」　　　　（１名）

　　・北海道・東北ブロック社会福祉法人経営協セミナー　（１名）

　　・東北ブロック老人福祉施設協議会　介護力向上講習会（１名）

　　・全国健康保険協会　健康経営セミナー　　　　　　　（１名）

・福島県　認知症介護実践者研修　　　　　　　　　　（２名）

・　〃　　認知症対応型サービス事業所開設者研修　　（１名）

・　〃　　マイナンバー制度説明会　　　　　　　　　（１名）

・福島県消防学校　第６４期自衛消防隊員教育　　　　（１名）

・福島県社会福祉協議会社会キャリアパス制度導入研修（２名）

・　　　　　〃　　　　　　　初任者研修　　　　　　（６名）

・　　　　　〃　　　　　　　中堅職員研修　　　　　（５名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　老人福祉施設職員研修Ⅰ（２名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　老人福祉施設職員研修Ⅱ（２名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　主任介護職員研修　　　（１名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　生活相談員研修　　　　（１名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　機能訓練担当者研修　　（２名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　認知症高齢者対応研修　（２名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　栄養士研修　　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　介護支援専門員研修　　（２名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　医務担当職員研修　　　（３名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　　給食担当者研修　　　　（１名）

　　　　　・　　　　　〃　　　　　　福祉の職場内定者向け研修（３名）

　　　　　・県中地区施設部会　　　　介護職員研修会　　　　　（２名）

　　　　　　　　　　〃　　　　　　　生活相談員研修　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　　　　施設長研修　　　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　　　　施設長・事務長研修　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　　　　給食担当職員研修会　　　（１名）

　　　　　・福島県栄養士会　福祉施設栄養士研修　　　　　　　（１名）

　　　　　・福島県安全運転管理者協会　安全運転管理者講習　　（１名）

・介護労働安定センター　接遇とビジネスマナー研修　（２名）

　　　　　・　　　〃　　中間管理職のマネジメント能力向上のカ（１名）

　　　　　・　　　〃　　　　　　　認知症の方の思いを探る　　（１名）

　　　　　・　　　〃　　　　　　　職員のキャリア支援　　　　（１名）

　　　　　・日本ユニットケア推進センターユニットリーダー研修（１名）

　　　　　・ふくしまユニットケア協議会　新任職員研修　　　　（５名）

　　　　　・福島県シルバーサービス振興会レクリエーション研修（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　高齢者の精神疾患を学ぶ　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　法令順守とコンプライアンス　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　認知症高齢者のケア　　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　こころに届く接遇コミュニケーション（２名）

　　　　　・　　　　〃　　　　医療と介護をつなぐ看取りケア　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　高齢者の栄養と食事　　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　高齢者介護のための医学知識　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　認知症高齢者の医学知識　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　キャビンアテンダントから学ぶ接遇マナー（１名）

　　　　　・　　　　〃　　日常生活のための生活リハビリテーション（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　食支援のための口腔ケア　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　排泄ケアとおむつの使い方　　　（２名）

　　　　　・　　　　〃　　　　感染症予防と対策について　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　これからの高齢誌ケア　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　施設での看取り介護について　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　福祉事業者とマイナンバー制度　（１名）

　　　　　・郡山市　「医療と介護の連携に関する研修会」　　　（１名）

　　　　　・郡山地方広域消防本部　自衛消防操法大会　　　　　（２名）

　　　　　・郡山市地方消防防災協会　防火管理者講習　　　　　（１名）

　　　　　・郡山市保健所　特定給食施設等従事者研修　　　　　（１名）

　　　　　・　　　　〃　　　　ノロウィルス対策講習　　　　　（２名）

　　　　　・　　　　〃　　　　自殺予防ゲートキーパー養成研修（２名）

　　　　　・プリマックス　マイナンバー制度対策セミナー　　　（２名）

　　　　　・くもん学習療法研究会　実践モデル施設のつどい　　（１名）

　　　　　・応研（株）福祉大臣決算セミナー　　　　　　　　　（１名）

・法人新任管理者研修Ⅰ・Ⅱ　　　　　　　　　　　　（１名）

**（３）その他行事等**

・特養では、各グループ（ユニット）において適時に食事会、誕生会、

外出等の余暇活動を実施いたしました。また季節に合わせた特別食、行事

食を提供しました

・デイサービスセンターでは各行事に合わせて芋煮会、行事食、バイキング

食サービスを実施いたしました。また、４月には花見外出、５月には須賀川牡丹園への外出等外出ドライブを企画・実施しました。

・グループホームでは毎月１日を防災の日と定め、避難訓練や通報訓練を

実施いたしました。また季節ごとに行楽や、外食等のレクリエーションを企画・実施しました。